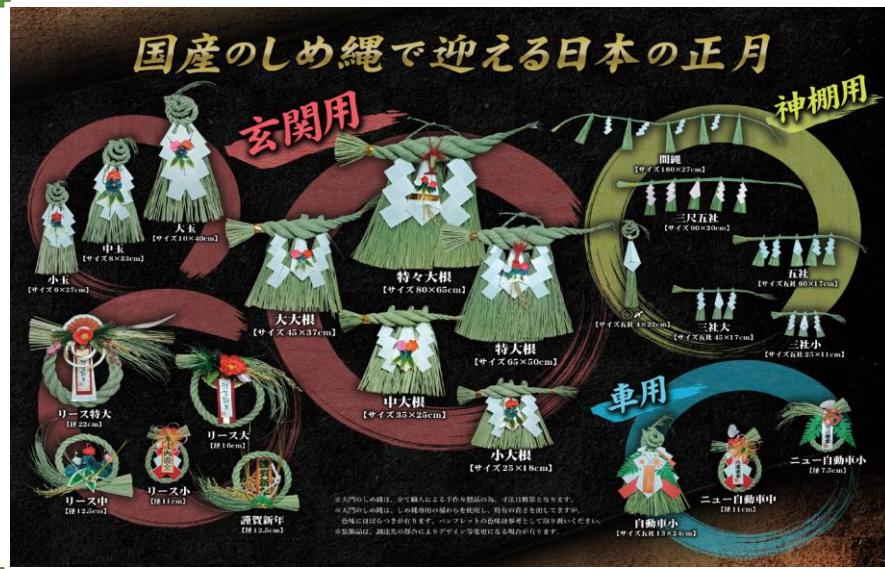


大門のしめ縄（岡崎市）の紹介

大門のしめ縄とは

資料作成協力：大門メ縄協同組合

- 大門のしめ縄は他の地域に先駆け青田刈りを採用し、蒼く品質の高いしめ縄を量産する事が可能になり、愛知県下最大の産地になりました。
- 現在大門メ縄協同組合の組合員数は6戸で、年間約30万本生産しております。
- 令和元年5月31日付けで、しめ縄では唯一地域団体商標に登録されました。





大門メ縄協同組合の取組

- 令和4年度よりトヨタ自動車株式会社と協力し、トヨタ自動車下山テストコースに点在する広大な水田で作られた稻わらを無償提供いただき、地域貢献活動の一環としてしめ縄づくり体験等に活用している。
- 地域への取組みとして、例年子供たちが交通安全キャンペーンで配布する自動車用しめ縄を提供しているほか、大門小学校で「しめ縄づくり教室」を開催している。
- 令和6年度は光ヶ丘女子高等学校とコラボし、稻刈り体験やしめ縄のデザインコンテストを実施し優秀作品の商品化等を行った。
- 令和7年度は岡崎市の親善都市石垣市としめ縄交流事業を実施し、互いのしめ縄を交換し、各庁舎に展示する。
- 毎年岡崎市役所にしめ縄を寄贈し市庁舎玄関に飾り付け。



大門小学校生徒によるしめ縄の配布
(交通安全キャンペーンにて)



岡崎市へしめ縄寄贈
(令和6年度)



石垣島まつりにて石垣市長と岡崎市長
がしめ縄を交換する様子